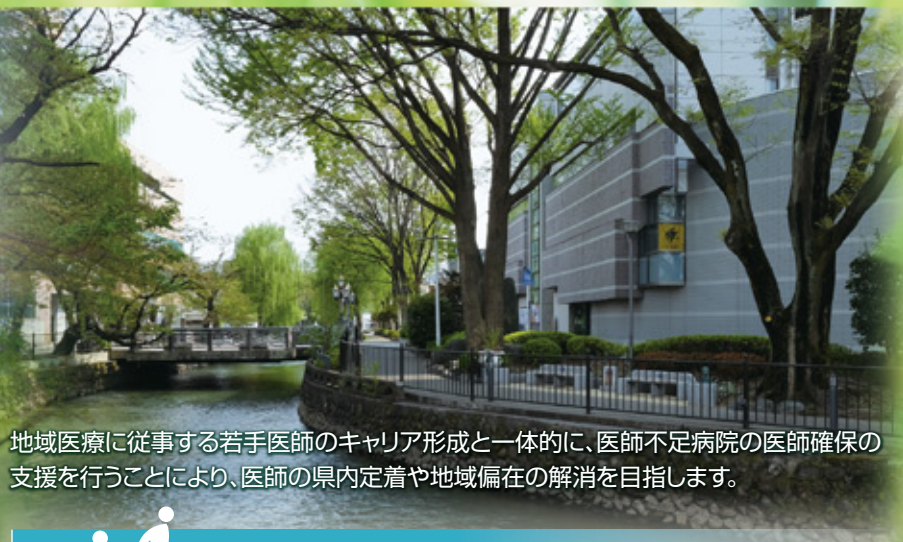




地域医療に従事する若手医師のキャリア形成と一体的に、医師不足病院の医師確保の支援を行うことにより、医師の県内定着や地域偏在の解消を目指します。



1. 医師のキャリア形成支援

地域医療に従事する医師のキャリア形成支援を通して、地域医療に貢献します。



2. 情報発信と相談への対応

センターの活動や医師の求人・求職情報を発信し、医師・医学生等からの相談に対応します。



3. 医師不足病院の支援

医師不足病院の医師確保を医師のキャリア形成と一体的に支援します。



4. 医師不足状況等の把握・分析

地域で必要とされている医師数等について把握・分析します。



群馬県地域医療支援センターでは、医師志望の高校生や医学生を対象に、地域の医療現場を見学・体験できるセミナーを多数開催しています。また、将来、地域医療の現場で活躍したいという熱意のある医学生や若手医師のキャリア形成を支援するため「ぐんま地域医療リーダー養成キャリアパス」を作成しました。皆さんの大きな夢を実現できるように、群馬県内の関係各機関と連携し、“オールぐんま”できめ細かな支援をしています。

先輩からのメッセージ



群馬大学医学部附属病院
初期臨床研修医2年次

丸山 篤造

公立藤岡総合病院と群馬大学医学部附属病院のたすき掛けプログラムで研修中です。群馬県内の研修病院はどれも特色があり魅力的で研修先に非常に迷いました。色々な病院の研修医と交流すると、どの病院で研修をしても自分のやる気次第で研修の質が大きく変わることが実感しているようで、研修先で悩む以上に研修内容を悩むことが大切だと感じました。



公立藤岡総合病院
初期臨床研修医2年次

道崎 護

先生方やメディカルスタッフの方々に温かく支えられ、とても充実した研修医生活を送らせていただいています。学生時代の経験1つ1つが、現場でのコミュニケーションの基礎として活着していると感じます。力不足で凹むこともありますが、皆さんの先輩として恥ずかしくないよう、今後も一生懸命学んでいきます。



群馬大学医学部
医学科4年生

今泉 純

低学年のうちは病院実習の機会が少なく、教養や基礎医学を中心に学びます。医学部では多くの試験が待ち受けていますが、“試験に通るための勉強”ではすぐに忘れてしまいますし、あまり楽しくありません。早い段階から地域医療体験セミナー等に参加し、臨床現場を実際に見ることで、医師という職業のイメージをつかみやすくなり、試験勉強もより有意義なものになると感じます。



群馬大学医学部
医学科3年生

長谷川 芽衣

大学への入学当時はただ漠然と医師になりたいという思いしかなかった私ですが、3年生になった今、目指す医師像が少しずつ見えてきたような気がします。1.2年生の間で様々なセミナーへ参加し、色々な現場を見学させていただいたり、沢山の医師や研修医の先生方、患者さんとお話ししたりできたお陰だと思います。これからもそのような機会を大事にしていきたいです。